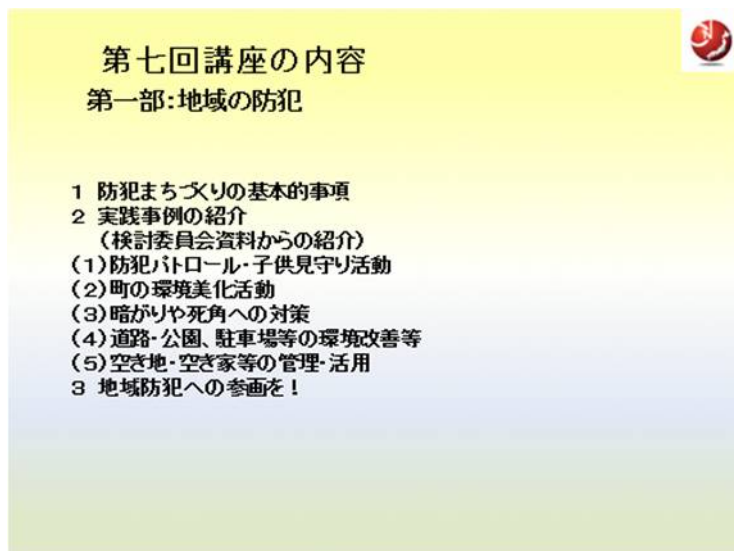


地域の防犯7 防犯まちづくりの実践事例

第7回講座の内容はスライドの通りです。防犯まちづくりの実践事例を紹介しますので、これを参考にして夫々の街の特性に応じた方法を見つけて頂きたいものです。

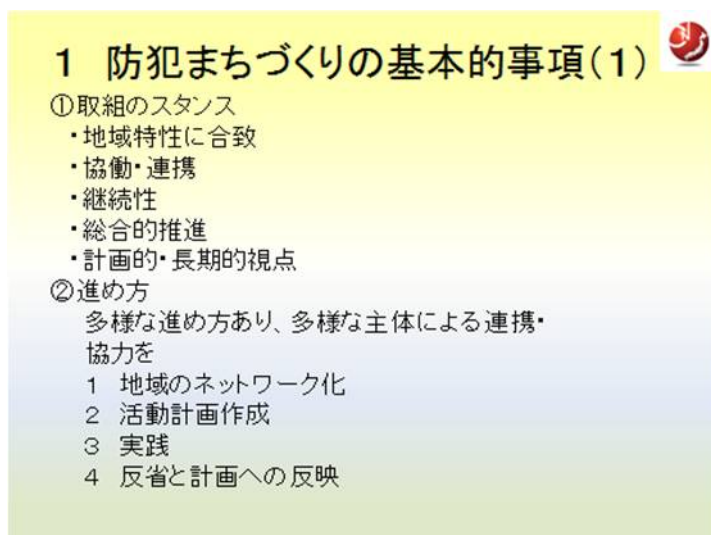


第七回講座の内容

第一部:地域の防犯

- 1 防犯まちづくりの基本的事項
- 2 実践事例の紹介
(検討委員会資料からの紹介)
 - (1)防犯パトロール・子供見守り活動
 - (2)町的环境美化活動
 - (3)暗がりや死角への対策
 - (4)道路・公園、駐車場等の環境改善等
 - (5)空き地・空き家等の管理・活用
- 3 地域防犯への参画を!

まず、防犯まちづくりの基本的事項です。取組のスタンス及び進め方はスライドの通りです。細部説明の必要はないでしょう。



1 防犯まちづくりの基本的事項(1)

- ①取組のスタンス
 - ・地域特性に合致
 - ・協働・連携
 - ・継続性
 - ・総合的推進
 - ・計画的・長期的視点
- ②進め方
 - 多様な進め方あり、多様な主体による連携・協力を
 - 1 地域のネットワーク化
 - 2 活動計画作成
 - 3 実践
 - 4 反省と計画への反映

基本的事項の第3は、地域のネットワークづくりであると云われています。志ある同憂のグループは多々存在する筈ですが、それらが大同団結というか協力関係を構築して大きなうねりにする必要があり、それが社会を変革することになる筈です。例えば悪い

ですが塵も積もれば山となる筈です。

1 防犯まちづくりの基本的事項(2)



③地域のネットワークづくり

- ・自治会・町内会、PTA、婦人会、老人会、青年会、商店会、有志の地域防犯活動団体、NPO等
- ・積極的広報による周知、同憂の士の参加募集
(個人負担の軽減、町ぐるみ活動)
- ・小学校区等を単位とする活動例多し
- ・行政、警察、学校との連携が重要
(協力体制の構築・情報交換の実施)

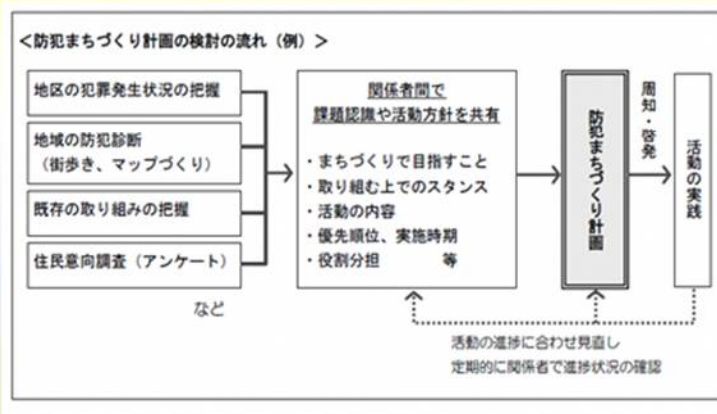
活動計画策定については定型はありませんが、状況を分析し、何をすべきかを明確にすることが肝要です。P-D-C-Aサイクルにより計画を逐次にバージョンアップすることが必要です。

1 防犯まちづくりの基本的事項(3)



④活動計画

課題認識・活動方針の共有→活動計画化



実践事例をまとめて紹介してある資料から引用しておりますが、その根拠資料を示しています。

実践事例紹介



以下に紹介する実践事例は、「安心して暮らせるまちにするために～地域防犯活動から始まる街づくり～」平成20年3月

安全・安心まちづくり検討委員会(国道交通省 土地・水資源局 都市・地域整備局)からの引用である。

詳細は、http://tochi.mlit.go.jp/wp-content/uploads/2011/02/anzen_sasshi.pdf

最もポピュラーで必要度も高く、且つ誰しも参加できる活動と云えば、防犯パトロール・子供見守り活動でしょう。**ながら活動**は皆さんも良く見かけられるでしょう。誰かが居るということだけで十分な抑止効果はあります。

1 防犯パトロール・子供見守り活動(1)



- 様々な地域で実践中、多様な主体による気軽にできる取組の積み重ね・連携が重要
- ながらパトロール活動
 - ・ 自転車の前かごに黄色いステッカーを付け、買い物をしながらの活動
 - ・ 犬の散歩の時間を登下校時間に合わせることで周囲に目を配れるわんわんパトロール
 - ・ ストラップを首にかけ、散歩しながらの活動
- 集団パトロール
 - 集まる理由も人それぞれ、大勢で歩くことに意義あるパトロール

防犯活動は住民だけでなく、広く賛同者を募って行う必要があります。地域の事業者も地域企業住民として活動をしている事例があります。企業が企業市民としての意識をもって地域活動に関与してくれることは非常に価値あることであると思います。

1 防犯パトロール・子供見守り活動(2)



○地域で活動する事業者との連携

・郵便、宅配、タクシー、工事現場係員、新聞配達員、運送業者、福祉サービス業者、資源回収業者、警備業者、ガス会社、商店会、信用金庫等

・企業との防犯協定締結(横須賀市等)

○店舗や工事現場を子供駆け込み場所として活用

○青色パトロール活動

○公用車を活用したパトロール活動(福岡県等)

* 自主防犯活動拠点の確保が重要

* 行政による各種支援あり(補助金、資器材支給)

割れ窓理論で明らかのように、環境劣悪な地域は犯罪発生の可能性が他の地域よりも高まります。そういう意味において街の環境美化を促進することは犯罪抑止のために重要です。色々な地域でスライドにあるような活動を行っております。

2 まちの環境美化活動(1)



○落書きやゴミの散乱→街の魅力低下

環境美化→間接的犯罪抑止効果

○地域住民、地域組織による環境美化活動



地域の防犯少年団が交差点上のゴミ拾い活動
(警備は安佐南まちづくり協議会
(広島県広島市))



子どもがのびのびと生活
(警備はNPO法人「Love
つぎ」(神奈川県横浜市長))



通学途上の環境美化活動
(警備は福岡市内地区連防犯協会
福岡県東区西区、(北海道札幌市))



防犯活動も楽しみ、行楽が目的の防犯
自転車乗客が作業を積極的に行な
(警備は安佐南防犯協議会「安佐
南まちづくり委員会」(広島県広島市))



商店街を花でかざりあやりを通
して子供たちとコミュニケーション
をはかる(八幡宮人形かざり
運動)(警備は安佐南防犯協議会)



1家族 1ボランティアで街の
緑化活動を推進(東北ニューター
ウン(大宮経済市))

文言でお示しすればスライドの通りです。

2 まちの環境美化活動(2)



- 清掃ボランティアの募集(姫路市)
公共場所、人数に関わらず、用具の貸出・ゴミの回収等
- みやぎ違反広告物除去サポーター制度
ボランティア団体に委任、違反貼り紙除去
- 落書き消しボランティア団体などへの支援
用具等の貸与支援(北九州市)
- 生垣設置補助金(長野県東御市)
緑化推進事業、花壇整備事業、花いっぱい運動奨励事業等
- 緑の花の市民協定(神戸市)
住民と協定締結し、花苗やプランターを助成

暗がりがあったり人の目が届かない死角があれば、矢張り犯罪発生の可能性がありますので、そのような暗がりや死角をなくす努力が行われています。

最近では防犯カメラが犯人逮捕に結びつくケースが増えております。それだけ、カメラが増設されたということでしょう。防犯カメラは補完手段ですが、段々と主要な手段となりつつあるようです。

3 暗がりや死角への対策



- 一戸一灯運動、ライトアップ作戦
 - ・各家庭の門灯や玄関灯を一晚中点灯させ、街を明るくする取り組み
 - ・門灯・玄関灯の点灯
20w蛍光灯12h/日 月々150円程度
 - ・灯かりのいえなみ協定(神戸市)
- 防犯灯の設置(増設)
明るさのムラや光害などに配慮し効果的な設置場所検討
・防犯灯補助事業(藤沢市)
- 死角や「人の目」を補う防犯カメラの設置
補完手段としてのカメラの設置、プライバシー保護に留意
 - ・暗がり診断の実施
 - ・防犯カメラ設置費用の一部助成

良い地域環境は、犯罪抑止に効果がありますので、スライドにお示しするように道路、公園或いは駐車場等の環境改善のための取り組みが推進されています。

アダプト制度の導入が進んでいます。アダプト制度とは、行政が、特定の公共財（道路、公園、河川など）について、市民や民間業者と定期的に美化活動を行うよう契約する制度のことです。美化活動を行う主体は、地域住民などのボランティアが多く、行政はそれらの活動に対し一定の支援を行うという形式が多いですね。

因みに、「Adopt」とは、英語で「養子縁組をする」といった意味合いがあり、公共財を地域で引き受けるといった意味合いの制度です。

4 道路・公園、駐車場等の環境改善・維持管理

- 公園を憩・交流のふれあい公園としての活用
見通しの確保、清掃活動や花壇づくり、各種活動に活用
 - 安心・安全な道路への改善
歩道の新設、車止め・ガードレールの設置、
蛇行道路対策(ハンフ等による抑制)
 - ふれあい・生活空間としての通りの創出
共同花壇・街角広場など、塀や垣の適切な高さや透視性
 - 駐車場・駐輪場における透視性の強化と接近の抑制
見通しの良いフェンスなどによる周囲との区分、
管理者常駐、防犯カメラ設置
- ＊アダプト制度の導入が進んでいる。
公共空間の一部の管理を地域住民等が行い、行政がそれを支援する制度

公共的空間に対しては、アダプト制度の適用は出来ても私有地は適用できません。管理者の適切な管理を促すのが第一でしょうが、それだけでは不十分で、地域住民によるパトロール等が行われています。

今冬の豪雪により空家の雪下ろしが問題となっていました。空き家条例を策定して、管理者に空き家の適正な管理を義務付け、撤去規定をも盛り込んだ条例が策定され始めています。建築基準法は、著しく危険な建物の撤去を所有者に命令できるが具体的な手続きの規定はない。

5 空き地・空き家等の管理・活用

- 管理者による除草などの自主管理の推進
- 自治会等によるパトロール巡回、施設状況の確認等の管理支援
- 公園・広場や市民農園、地域コミュニティ活動や福祉等の身近な生活サービス施設、居住推進を図る住宅など、街に活力を与える活用
- ・地域団体による空き地の環境改善活動(川崎市)
- ・空き地等を活用した公園整備(世田谷区)
- ・住民参加による遊休地の遊び場活用(愛知大口町)
- ・空き店舗の福祉施設への活用(鶴岡市)
- ・空地の適正管理に関する条例、安全・安心でやさしいまちづくり条例、空きスペースの情報提供を行う「空きスペースバンク」の整備(愛知県)

地域防犯活動と言ってもそれほど難しいことではありません。市民一人一人にできることが沢山あるのです。一步を踏み出そうではありませんか。

3 地域防犯への積極的参画を



- 気負わずに、一歩を踏み出す勇気を！
- 同憂の士は周りに沢山居る！
 小さな輪から大きな輪に！
- 行政等にアタックしてみよう！
 警察や役場に相談してみたら！
- 頑張り過ぎないように、出来る範囲で実施！
- 地域のことは地域で解決しよう！
- 色々な取り組み方法がある、定型なし！